

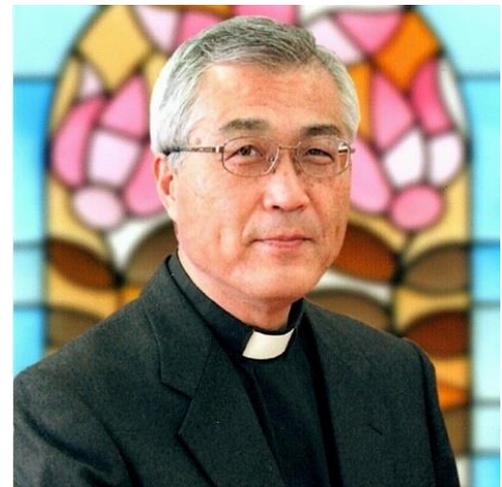
# 教会だより

松本カトリック教会  
教会委員会  
松本市丸の内9-32  
TEL 0263-32-0795

## 白木神父様 着任!

### 《神父のつぶやき》

松本小教区の皆さま、はじめまして。  
甲府教会からこちらに赴任してきました白木信一神父です。  
今回の異動で松本教会に赴任することになりましたが、甲府教会に赴任する前は、東信地区の上田教会におりましたので、長野県には六年ぶりの振り返りとなりました。  
4月19日にこちらに越してまいりました。ゴールデンウィークを利用して、運んできたダンボールの中味はすべて出すことはできましたが、まだ新しい場所での整理がついていません。今でも、時々あれはどこだったかなと探しまわることがあります。まだまだこちらの生活に馴染んでいくには時間がかかりそうです。松本小教区にも早く馴染んで落ち着いて活動していければと思っていますが、それまでいろいろお尋ねすることもあるでしょうし、行き違いも出てくるかと思いますが、慣れるまでご辛抱ください。



小教区によって教会報がいろいろな形で発行されていますが、毎月のところもあれば、年に何回かというところもあり、様々ですが、だいたい巻頭言を頼まれます。その際、数年前から「神父のつぶやき」というタイトルで書かせていただいておりますので、松本教会でもそのようにさせていただきます。

「松本小教区にも早く馴染んで --- 」と先述しましたが、これまで松本小教区で行われてきたことや、やり方をそのまま踏襲するという意味ではありません。司教様が進めていこうとしているやり方で、司教様が目指しているキリストの教会としての実現において、横浜教区の松本小教区としてそれに沿った歩みを進めていきたい、との意味です。

司教様が進めていこうとするやり方とは、司牧書簡『横浜教区における改革の基本方針』が示され、司教教書『共同宣教司牧に向けた --- 』において発表されるものです。そして、目指しているキリストの教会とは司牧書簡『交わりとしての教会をめざして』において示されているものです。

典礼憲章10項に、「典礼は教会の活動が目指す頂点であり、同時に教会のあらゆる力が流れ出る源泉である」と宣言し、典礼がいかに教会活動の中心であることを示しています。そして、司教様が『交わりとしての教会』の中で、「この実現のために一致の秘跡と呼ばれる聖体は特に大切です」(P3)と述べられているのですが、この意味でも、小教区共同体が共に集う主日のミサにおいてご聖体に養われていくことが、いかに大切かを理解すべきだと思うのです。

主日のミサが行われていないという状況は、やむを得ない事情も一方にはあるのですが、この状況では教会は休んでいる、もっと言うと教会の存在を消しているとも言えるのではないかと思います。建物は堂々とその存在を示してはいますが、「教会」とは建物でしょうか、と自問自答してしまいます。

なんだか所信表明のようになってしまいましたが、どうぞこれから宜しくお願いします。

\* 林健久神父様は、静岡県の雙葉学園に理事長として赴任されました。

## 《教会委員会より》

役員の変更が行われました。

委員長：田中利明（再任）      総務委員：大浜崇（新任）  
 典礼委員：宮下恵子（新任）      社会福祉委員：井口絢子（新任）  
 養成委員：徳島佳代子（新任）      財務委員：富田清賢（再任）  
 フィリピンコミュニティ委員：吉田アイリン（新任）  
 修道院代表：大槻シスター（再任） 事務員：川畑ミチコ（再任）

新任者の任期は2年間です。よろしく願いいたします。

この度、総務委員となりました大浜崇です。  
 受洗直後に信徒としても半人前のまま旅に出て、流れ着いた松本教会にこっそりと籍を置いていました。教会の運営については右も左も分からない中「これも神様のお導き(試練?)」と委員をお受けいたしました。頼りない総務委員となってしまう、皆様にとっても試練かと思いません(笑)が、温かい目で見守って頂けると幸いです。  
 どうぞよろしくお願いいたします。

このたび、養成委員長を拝任致しました徳島です。  
 今まで教会学校には保護者としての関わりのみでしたので、教会学校スタッフとしては一から勉強させていただく事となります。  
 また、生涯養成はコロナ禍で活動は停止中ございまして、スタッフ未定のままの年度始めとさせていただきます。生涯養成スタッフにご興味のある方は、ぜひお声がけくださいませ。  
 私自身至らない点が多くご心配をおかけする事も多いかと思っておりますが、皆様のお力をお借りして努めさせていただけたらと思っております。  
 2年間、よろしくお願い致します。

三度、社会福祉委員を拝命致しました。  
 コロナ禍により長らく行ってきた、おしゃべりカフェ、ミニショップは当面の間閉店でいつから皆様に憩いの場を供させていただけるかわかりません。早く活気の溢れる場が再開できるようになると良いですね。  
 現在社会福祉小委員会として活動しておりますのは、まずウクライナ避難民支援として、JCF（日本チェルノブイリ連帯基金）を通じて、ボブラン・サブーラ神父様の元へ食料品、雑貨等を送る支金のための寄付金を募っております。いつ平和が訪れるかわからない現状で避難所に女性、子供が多数身を寄せている方たちのためにご協力ください。当教会所属のリカア・アルカザイルさんも連日JCFでこの支援活動のために働いておいでです。  
 この他毎月大阪西成のフランシスコの家に物品を送る支援を行っております。皆様に食料品、雑貨、男性用新品の下着、洗濯した衣類など信徒ホールのボックスに寄贈いただけたら幸いです。  
 病者訪問のミゼリコルディア会活動も病院、介護施設などの訪問も今は面会禁止などでできませんので、メンバーがそれぞれ体調のすぐれない方に電話で連絡、お手紙など差し上げております。また体調の悪い方には司祭の病者の塗油をおすすめしております。追悼ミサなどには参加させて頂いております。とにかく早くミサが再開できますように、また以前のように活気に満ちた松本教会に…と祈るばかりです。

社会福祉委員 井口絢子

## お知らせ・ご案内

\*詳細は教会ホームページをご覧ください。



## 『第40回横浜教区典礼勉強会』動画公開のお知らせ

【講話1】「主の日を共に祝うことの意味」宮内神父様

【講話2】「ミサをともにささげるわたしたちという存在」岡野神父様

\*6月30日(木)まで公開されています。

YouTubeを見られない方は、後日、DVDでの勉強会を予定しています。(日程は後日連絡)

## ミサ閉鎖・再開基準

文書にてお知らせいたしました但、ミサの開催基準をレベル5までは実施、レベル6で中止といたしました(詳しくは教会ホームページをご覧ください)。

その後、県の感染レベル見直し等もあり、今後もミサ開催の基準が見直されることもありえますので、ご不明な場合はホームページをご覧ください。

## 堅信式について

今年(2022年)、9月18日(日)に諏訪教会において中信地区合同堅信式が行われます。

## ○対象者

受堅時に高校1年生以上の洗礼、初聖体を受けている松本教会所属信徒が基本的に対象となります。尚、松本教会以外で洗礼を受けている方々は、ご自分の受洗教会が発行する「洗礼証明書」が必要となりますのでご準備いただき、準備勉強開始までに提出してください。

## ○申し込み締め切り日

対象となる信徒の方々に希望する方は、主任司祭より申込書を受け取り、必要事項を記入の上、7月3日(日)までに主任司祭にお申し込みください。

尚、高校生は教会学校が準備クラスを担当しますので、申し込み締め切りまでに事務室を通して教会学校スタッフまでお申し込みください。

## ○堅信式に向けての準備クラスについて

現在5~6回のクラスを考えております。スケジュールについては、とにかく私にとっては急なことでしたので、現在検討中です。スケジュールが確定しましたら、後日お知らせいたします。

周知のこととは思いますが、代父母になる方々は堅信の秘跡を受けている方に限られます。

尚、このクラスはオープンにしますので、ご希望される方々の参加も可能です。

代父母になる方々は、できるだけ参加していただければと思います。

高校生の準備クラススケジュールについては、教会学校スタッフにお尋ねください。

\*この件でお尋ねになりたいことなどありましたら、主任司祭にお尋ねください。

## 今後の予定

週報や教会ホームページで  
お知らせしていきます。

## お気づきのこと

教会の運営・施設の管理等について、  
お気づきのことがありましたら、  
教会委員にお伝えください。